

一人一人が生き生きと活動する
明るく楽しい学校



かいどい



学校だより令和5年度

令和6年1月31日

<http://schit.net/tama/eskaidori>

多摩市立貝取小学校
校長 鈴木 純一郎

「夢の実現」をめざして

1月末を迎えて、寒さが一段と厳しくなってきました。ひょうたん池には毎朝氷が張り、校庭には霜が降りるほど寒い日が続いています。しかし、貝取小学校の子供たちは、休み時間になると寒い中でも校庭に出て、縄跳びやボール遊び、一輪車や鉄棒などで元気よく遊んでいます。学校では感染症予防をはじめ、健康管理に留意して、残り少ない今年度の教育活動を充実させてまいります。2月も引き続き、本校の教育活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

冬休みの間に貝取小学校に素敵な贈り物が届きました。アメリカのプロ野球メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手からの野球グローブです。テレビのニュースなどでも報道されていたので、実際にグローブを見たり手にしたりすることを楽しみに待っていた子供たちもたくさんいました。

朝会で全校児童に3個の特別なグローブを披露しました。箱の中からグローブを取り出した瞬間に「オーッ！」と驚きの歓声が上がりました。朝会開始の挨拶を担当した6年生に代表してグローブを手にはめて、キャッチボールをしてもらいました。学校の全員がこのグローブに触れられるように、学級を順番にまわり、その後は体育の授業や学級活動の時間、クラブや学校行事などにおいて、有意義に使用していく予定です。

グローブとともに届いた大谷選手からのメッセージには、次のように記されていました。

「私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。」

そして最後に、「野球しようぜ。」という言葉で締めくくられています。

かつて大谷選手は次のように語っています。

「人生が夢をつくるんじゃない。夢が人生をつくるんだ。」

夢を追い続け、自分が抱いた夢の実現に向かって一生懸命に努力をすることにより、毎日の生活がとても充実しているという、自らの体験に基づいた言葉です。

貝取小学校の子供たちには、将来の夢を抱き、その夢をかなえるために努力したり、苦労を重ねたりすることへの勇気と自信をもって歩いていくことを願っています。大谷選手からの贈り物について、ご家庭でもぜひ話題にさせていただきよう、よろしくお願いいたします。